

【栄養ケア・マネジメントによる熱傷患者入院期間への影響】

研究の概要：

熱傷患者さんに対する栄養ケア・マネジメントを評価して、【熱傷面積（%TBSA）、深度、栄養投与量、栄養素、栄養投与方法、血糖コントロール、栄養評価】が【平均在院日数】に及ぼす影響について検討することを目的としています。

研究対象：

2005年1月1日から2020年11月30日までに、相澤病院栄養科にて、【3度熱傷】の診断で【栄養ケア・マネジメント】を行った患者さんの診療録を対象とします。

研究の意義：

【熱傷患者】では、【Harris-Benedict 計算式を用いた栄養投与量、少なくとも55%炭水化物、20~25%たんぱく質、25%以下の脂質、10%TBSA以上の熱傷患者ではカロリーN（窒素）比が100：1、経腸栄養投与方法の推奨、血糖値80~110mg/dLへのコントロールの推奨、栄養評価としてトランスサイレチン（プレアルブミン）を用いる】と、熱傷診療ガイドライン【改訂第2版】一般社団法人日本熱傷学会に明記されています。当院での栄養ケア・マネジメントを検討し、【入院期間への影響】を明らかにすることは、臨床上的判断に有用であると考えられます。

研究の目的：

本研究は、栄養科で栄養ケア・マネジメントを行った【熱傷】患者さんについて検討し、【入院期間】に及ぼす影響について検証することを目的としています。

研究の方法および内容：

相澤病院の診療録データベースを利用して、診療録より必要な情報（患者背景、臨床経過、手術所見、術後経過）を収集し、統計学的な解析を行います。情報収集の作業に当たっては担当者がこれを行います。

個人情報に関する配慮：

人体から採取された試料ではなく、診療録を主とした既存資料を研究に用います。閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定され

ない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報 that 院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

研究責任者：矢野目英樹

〒390-8510 長野県松本市本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 栄養科・矢野目英樹

TEL 0263-33-8600 / FAX 0263-32-6763